

平成28年2月23日 会頭記者会見 発言要旨

時事の話題

京都市長選の結果は、門川市長の2期8年の実績に対する評価とマニフェスト実行への期待感の表れであったと受け止めている。山田知事との府市協調のもと、これまで築き上げてきたオール京都の連携をさらに進化させ、責任を持って未来の京都をともに創り上げていきたいと思う。

先般導入された日銀のマイナス金利については、さまざまな意見があるようだが、デフレ脱却への日銀の強い決意を反映させたもので、金融面から実体経済の改善を後押しするものと受け止めている。経済全体でどういう効果があるのか、現時点では何とも言えないが、短期的な市場の動向で評価するのではなく、日本経済や、地元京都企業の経営戦略や業績にどういった影響をもたらすのか、今後の動向を注視したい。株価や為替の動きも不安定な状況が続いているが、先進国経済のファンダメンタルズは比較的良いので、やがて落ち着くのではないかと。

京都商工会議所の動き

■平成28年度事業計画の方針について

平成28年度の事業計画の基本フレーム案をまとめた。全国の地方創生に先駆けて京都創生を実現するために、オール京都の連携をはじめ、地域間や企業間の「攻めの連携」を強化し、未来の成長に向けた基盤づくりを加速させなければならない。来年度はニュー京商ビジョン・サードステージの仕上げの年にあたる。中小企業が輝く京都創生に向けて、「知恵産業のまち・京都」実現への取り組みを着実に推進し、知恵産業の森づくりを進めていきたい。

重点項目の1つ目は、知恵の連鎖に向けた支援の強化である。新たに「京商 食の6次化推進支援ボード（仮称）」を設置し、農商工連携による食の6次産業化を推進していくほか、中小企業経営支援センターに「創業・事業承継推進室（仮称）」を新設し、起業・創業や事業承継を一体的に支援する体制を整える。また、来年4月の消費税増税に備えて、軽減税率への対応など、中小企業がしっかりと対応できるようサポートを強化していく。

2つ目は、中小企業の人材確保・育成への支援拡充である。来年度は一步踏み込んで、大学生等の若者が、京都の中小企業に就職するための企業説明会を独自で開催する。産業人材の育成についても、これまで以上に力を入れて取り組んでいく。

3つ目は、京都経済センターの整備・推進である。センターの機能や管理運営体制など、まだまだ検討すべき課題は多いが、オール京都の連携のシンボルとして、創造的な知恵の連携拠点となるよう、関係者の一層の協力と努力を得て、取り組んでまいりたい。

7月に京都で開催される「全国商工会議所観光振興大会」では、交流文化・観光の創造と地方創生の大きなうねりを巻き起こすとともに、「世界交流首都・京都」の実現へとつなげたい。

この事業計画案は、本所役員・議員に意見照会した上で、3月29日の議員総会で決定する。

■京の朝型観光の提案について

本所観光産業特別委員会では、平成22年に「京都観光10年後への構造転換に向けての重点施策の提言」を取りまとめ、滞在・連泊を促す朝型観光に着目してきた。昨年には「京の朝ツーリズム研究会」を発足させ、朝型観光の魅力や課題などについて検討し、この度「京の朝型観光の提案」を取りまとめた。京都の朝型観光の魅力を「自然・風景」「暮らし」「食」「体験」に整理し、「京のあけぼのツーリズム」と名付け、会議所ならではのモデルコースを提案している。この報告については、旅行代理店や京都市観光協会などに提案し、商品化につなげるとともに、本

所会員企業のネットワークを活かし、朝型観光の趣旨にご協力いただける企業や店舗、団体など参画者を募りたい。また、広く朝観光の魅力を周知していくため、4月11日に「京の朝ツーリズム推進フォーラム」を開催する。

■第7回知恵ビジネスプランコンテストについて

知恵ビジネスプランコンテストは、経営支援員が認定後の事業成長をサポートしていくという点で、他の認証制度にはない特徴がある。今年度は多種多様な業種から69件の応募があり5件の事業プランを認定した。いずれも、安心・安全や環境問題といった社会的課題への対応や、伝統産業技術といった京都ならではの特性を活かして、衣・食・住の人々の暮らしに密接にかかわる様々なプランが揃い、知恵ビジネスの多様性が感じられる。認定の表彰と発表を3月7日の「京都・知恵ビジネス大交流会」にて行う。本所の国内・海外販路開拓事業に参画した事業者32社による展示会も開催するので、当日はぜひ取材にお越しいただきたい。

記者からの質問事項

■「創業・事業承継推進室（仮称）」について、専門部署を設置して支援していく狙いをお伺いしたい。

地方創生をふまえ、地元京都としても成長戦略によって経済の活性化、安定した雇用の創出を進めていくことが大きな課題だ。そのためにも、起業・創業、事業承継について本所としても積極的に取り組むことで、地域経済の活性化に貢献していきたい。

■消費税増税による軽減税率の導入について、商工会議所としての考え方を教えてほしい。

軽減税率が導入されることを想定し、中小企業、小規模事業者に対して早めにわかりやすく啓蒙し、支援していくことが商工会議所に求められているのではないかと。

■門川市長の公約にあった「観光新税」については、どのように思われているか。

京都市でもまだ内容を固められていないが、新税の導入にあたっては、関連業界や社寺仏閣に意見を聴取しながら、それを反映させた内容になっていくだろう。関連する業界の合意が得られ、新たに得られる税収が未来の京都のために使われるのであれば、悪いことではないと思っている。

■事業計画（案）の中で北陸新幹線のルートについて触れられている。先日、与党の検討委員会で山田知事と門川市長が舞鶴を通るルートを要望されたが、立石会頭はどう思われているか。

京都府全体、特に北部地域の活性化や、将来の山陰地方への延伸を考えれば、舞鶴を経由して京都を通るルートが望ましいのではないかと思う。政府には大阪までの早期延伸の実現に向けて、選定作業を進めていただきたい。

■北陸・関西連携会議については、今後どういったことに取り組んでいかれるのか。

この会議は、観光振興や企業間のビジネスマッチングの分野で、北陸と関西の連携をより深めていく狙いがある。北陸新幹線のルートについては、この会議の正式な議案にはしていない。

■平成28年度の事業計画（案）について、次期会頭としての抱負を改めて伺いたい。

この事業計画（案）の中に、会頭としてこれらを実現していく決意を示している。次期会頭は

11月の議員総会をもって正式に決まるので、次期会頭としての抱負を申し上げる時期ではない。

■京の朝型観光の提案について、今後、会員事業所をどのように取り込んでいかれるのか。

「京のあけぼのツーリズム」の中で「京都の朝食を楽しむ」「地域密着・暮らすように旅する」等を提案しているが、本所の会員事業所で朝に重きをおいて営業されているようなところに呼びかけていく。その周知として、まずはフォーラムを開催させていただこうと思っている。

■北陸新幹線のルートを選定する上で、会頭はどの点をポイントに決めていただきたいとお考えか。また、事業計画（案）には、リニア中央新幹線についても書かれているが、どういう効果を京都に期待しているか。

北陸新幹線について、JR西日本としても旅客収入や観光客の取り込みといった需要上の問題があると思う。そうしたことを加味して、舞鶴を経由した京都駅ルートになるのか、直接京都駅を結ぶルートになるのか、最終的には政府が決めていくことになる。

リニア中央新幹線については、京都駅というよりは京都府を経由するルートを申し上げている。奈良付近を通るルートであれば学研都市の推進にも影響するだろう。幅広い捉え方で要望活動を行っているとお考えいただきたい。

■文化庁の京都誘致について、先日の要望から何らかの進展があったか。手応えや感じていることがあれば教えてほしい。

政府、関係機関のトップには、地元の熱意と本気度、機運の盛り上がりを理解していただいたと思う。3月中には正式に決まると聞いているが、前向きな方向で検討されていくのではないかと期待している。この1ヵ月間の動きに進展はない。

以 上

はじめに

“春はあけぼの。清少納言がながめた紫いろの夜明けの雲は、いまも東山にたなびく。”

これは『枕草子』をモチーフに、京都の持つ精神性を表現した京都創造者憲章の冒頭の一部です。京都の朝の魅力は、清少納言も眺めたであろう東山をはじめとする美しい自然と、人々が積み重ねてきた歴史や文化が織りなす、清々しい佇まいにあります。

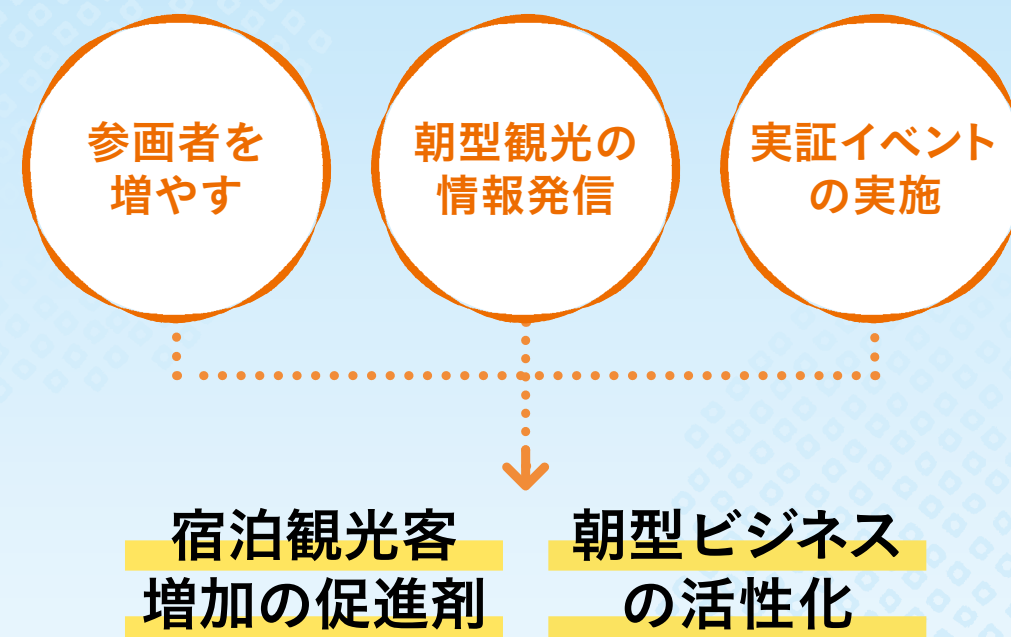
京都商工会議所 観光産業特別委員会が2010年に取りまとめた「京都観光10年後への構造転換に向けての重点施策の提言」では、京都の奥深さを楽しむため滞在・連泊を促す朝型観光の充実に着目。そして京都市が2015年に策定した「京都観光振興計画2020」においても「朝型観光の推進」が施策のひとつに位置づけられています。また京都市観光協会でも「京の冬の旅/夏の旅」コースにおいて試行的に朝型観光が始動。京都の朝は新しい観光資源として注目されつつあります。

太陽の光を浴び、ゆったり深呼吸。心身に調和をもたらす京都での格別な朝の過ごし方を、提案して参ります。

むすびに

“京都の朝”をメインテーマに、研究会メンバーがディスカッションを重ねて見えてきたのが、清々しい朝に未知なる観光要素が多くあるという新事実でした。今後は、朝型観光を推進していくための機運醸成や情報発信、モデル的な実証イベントを実施することで、協力的な参画者を増やしていくことが課題となってゆくでしょう。

この研究会で発掘された気づきや提案が、さらなる宿泊観光客増加の促進剤となり、朝型ビジネスの活性化につながることを願っております。



京の朝ツーリズム研究会

主管:本所観光産業特別委員会

メンバー:(順不同・敬称略)

座長 坂上 英彦 京都嵯峨芸術大学 芸術学部 デザイン学科 教授

奥原 恒興 京都商工会議所 専務理事
北原 茂樹 京都府旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長 ※
齊藤 剛 日本ホテル協会京都支部 事務局長
佐藤 隆芳 一般財団法人京都ユースホステル協会 事業部長
杉本 健次 株式会社JTB西日本京都支店 取締役支店長 ※
谷川 隆 株式会社日商社 代表取締役社長 ※
中西 真也 株式会社リーフ・パブリケーションズ 代表取締役社長 ※

※印…本所観光産業特別委員会 委員

(肩書は研究会当時のもの)

事務局:京都商工会議所 産業振興部 TEL:075-212-6453 FAX:075-255-0428 E-mail:shinkou@kyo.or.jp



京の朝ツーリズム研究会

京の朝型観光の提案

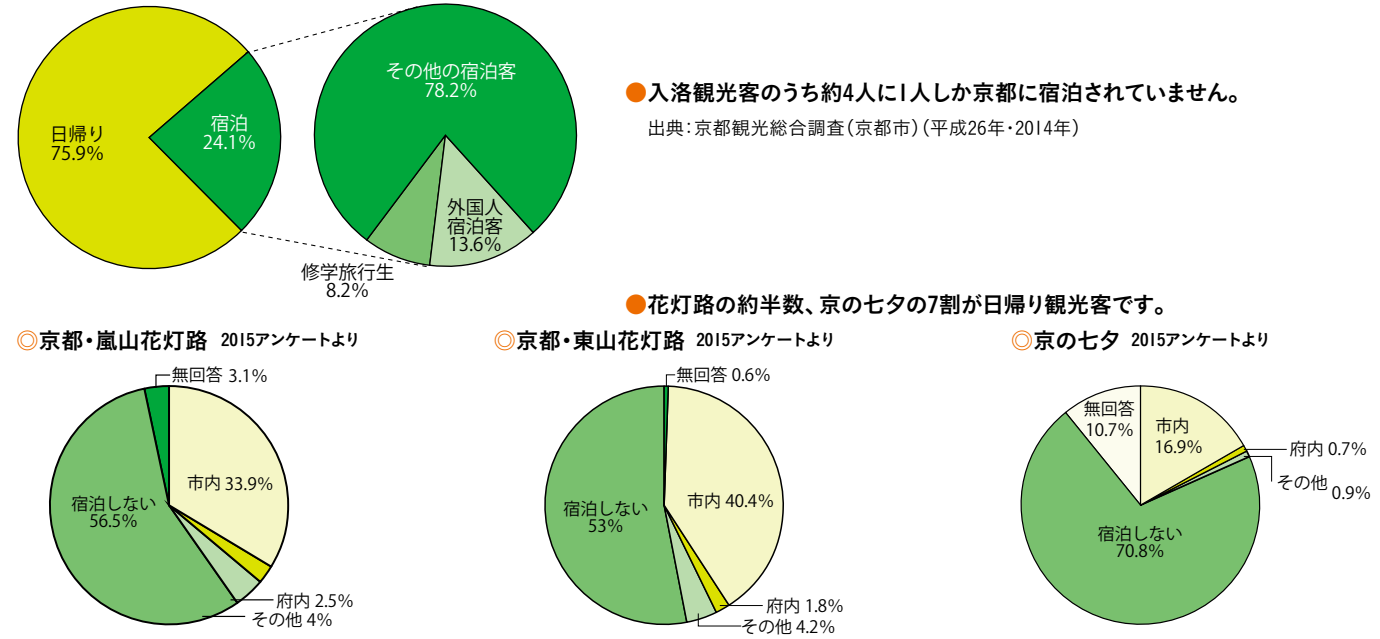


2016年3月
京都商工会議所

なぜ今、朝型観光なのか

昨今、インバウンドの飛躍的な伸びにより、京都市内のホテル稼働は飽和状態という指摘もありますが、旅館や閑散期のホテルなどには、まだまだ伸びしろがあります。また、観光閑散期事業として「花灯路」「京の七夕」などのライトアップイベントを開催しているものの、来場者の半数以上が日帰り客です。夜のイベントだけでは宿泊客増加にはつながらない現状をふまえると、朝型観光をプラスすることが宿泊観光への秘策だと言えます。

さらに奥深い京都を満喫していただくためにも、宿泊した流れで朝型観光を楽しんでもらうことが、今後の京都観光の可能性を広げていくと考えられます。



京都の朝型観光の魅力

団体から個人へ、見る観光から体験する観光へ、非日常から日常へ。
新たな視点が求められるこれからの京都観光。多様化するニーズに応える魅力を4項目にまとめました。

自然風景 古の人が歌に詠んだであろう京都の景色を楽しむ



心地よい静寂に包まれる朝の寺社を訪問。清らかな空気の中、神仏の存在を肌で感じるような時間が、京都の思い出を色濃くする。

暮らし 暮らすように楽しむ 日常生活に入りこむ旅 ～しばし「京都人」になる～



ハレとケ、表と内。区分けし守られてきた京都の文化。その生活ぶりを見聞きし、町衆の息づかいを感じながら、暮らすように旅してみる。

食 京都の朝食を楽しむ



朝がゆ、おばんざい、カフェやベーカリーなど、バラエティ豊かな京の朝食でエネルギーをチャージ。

体験 京都ならではの体験・学び・癒し



寺院での写経や座禅、朝茶事、サイクリングやウォーキング、京野菜の収穫体験など、さまざまな京都アクティビティに挑戦。

京都の朝型観光「京のあけぼのツーリズム」の提案

京都商工会議所から提案する朝型観光を「京のあけぼのツーリズム」と名付けました。「京のあけぼのツーリズム」では、多種多様な業種の企業を会員に抱える商工会議所の強みを活かし、ひと味違う内容を探究。通常は非公開な場所、京の文化人との交流、京都人しか知らないグルメ…。京都好きのツボを抑えた内容を提案します。

※写真はイメージです

1 京都の「朝食」を楽しむ

1-1 非公開庭園見学と朝がゆの朝食 ～ご亭主のお話を楽しむ～

非公開の庭園を散策した後は、料亭のご亭主によるお話と朝がゆを楽しむ贅沢な京の朝体験



食 **自然風景**

1-2 話題のパン屋めぐり～自然を感じながら贅沢なパン三味の朝食を楽しむ～

古都でありながら常にパン消費量で全国上位に入る京都。新しいもの好きの京都人を魅了する人気のパン屋をめぐり、京都らしいお庭を見ながらゆったりとした朝食を楽しむ



食 **自然風景**

2 地域密着・暮らすように旅する京都を楽しむ

2-1 京都密着・市民の息づかいを感じる ～湯葉屋・豆腐屋の見学と朝ごはん～

湯葉、豆腐などは京料理を代表する食材。老舗の湯葉・豆腐店の見学とお話、朝食を楽しむ



食 **暮らし**

2-2 京の農家で野菜収穫体験 ～京野菜の収穫と京民家の朝ごはん～

京都の農家で野菜収穫を体験し、京野菜を使ったおばんざいなどを楽しむ、京の日常体験



食 **自然風景** **暮らし** **体験**

3 絶景スポット独り占めを楽しむ

早朝の京都タワーから楽しむ市内の眺望 ～湯ったりとぜいたくに京都を独り占め～

早朝の京都タワーの見学と360度の眺望を楽しんだ後は、地下の大浴場でリフレッシュ



食 **自然風景**

京都の朝型観光。期待と注目度が高まっています!

期待

京都通のガイドによるミニツアーを行い、人気を集めている「まいまい京都」の代表・以倉さんは、「朝の楽しみ方はまだ知られていない部分。ツアーを提案することによって楽しみ方を提示することは有効です。また、朝観光の醍醐味は『地元密着。暮らすように旅する』といったイメージ。リピーターの方にも新たな京都の魅力を提案できます」と、朝型観光への期待を語ってくださいました。



まいまい京都 代表 以倉敬之さん

注目

朝型観光は、すでに旅行ツアーの中にも登場しています。例えば、京都市観光協会の「京の冬の旅」「京の夏の旅」で紹介されるツアーには、昨年より、砂紋引きや座禅など朝から体験・見学ができるコースを設け、幅広い観光客のニーズに応えています。



～宿泊客増加に向けた「朝観光」の可能性を探る～

観光都市・京都には、国内外より年間5千万人を超える旅行者が訪れ、その数は右肩上がりに伸びています。しかしながら旅行者の7割強が日帰り客で、日中の観光スポットは混み合っており、ゆっくりと京都観光を楽しんでいただけていないのが現状です。

そこで、京都商工会議所では、昨年7月に「京の朝ツーリズム研究会」を発足し、宿泊観光客増加に向けた京都の朝型観光について、その魅力や可能性の発掘、メニューづくり、課題等について協議して参りました。この度、報告書を取りまとめ、会議所ならではのオススメ朝型観光コースをご提案いたします。京都の朝の魅力について共に考え、新しい京都観光の可能性を見出していきましょう。

ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

■日時 4月11日(月) 14:00～16:00

■内容

第1部「京の朝ツーリズム研究会」からの報告・提案

説明者:坂上英彦氏(「京の朝ツーリズム研究会」座長/
京都嵯峨芸術大学 教授)

- ・1952年生まれ。関西大学卒。1989年(株)日本総合研究所入社。同社研究事業部主席研究員を経て、2001年より現職。都市や地方のあり方についてグローバルな視点から産業経済、まちづくりなど総合的な政策研究を行う。

「京の朝ツーリズム研究会」でとりまとめた報告と、報告を踏まえた上で、会議所ならではのオススメ朝型観光メニュー「京のあけぼのツーリズム」の提案・発表をいたします。



第2部パネルディスカッション「宿泊客増加に向けた「朝観光」の可能性を探る」

パネリスト:山村 純也さん(株式会社らくたび 代表取締役社長)

- ・1973年京都生まれ。立命館大学在学中にプロの観光ガイドとして京都・奈良を案内。卒業後、大手旅行会社勤務を経て2006年京都観光を総合的にプロデュースする「(株)らくたび」を創立。以後ツアープロデューサー、ツアー講師として活躍。

小山 明美さん(ホテルコンシェルジュ/京都観光おもてなし大使)

- ・長野県生まれ。ハワイパンパシフィック大卒。1995年よりシェラトンワイキキホテルに勤務。1999年日本に帰国後、京都ブライトンホテルに入社。2013年よりザ・リッツ・カールトン京都のコンシェルジュ。京都観光おもてなし大使。

森崎 清登さん(近畿タクシー株式会社 代表取締役社長)

- ・1952年兵庫県生まれ。早稲田大学卒業後、酒造メーカー勤務を経て、1984年近畿タクシー入社。1996年社長に就任。スイツタクシー、ジャズタクシー、神戸ブレッドタクシーなど、ユニークな観光タクシーを発案。地域に密着したタクシー会社を経営方針とする。

コーディネーター:坂上 英彦さん(京都嵯峨芸術大学 教授)

■場 所 京都ホテルオークラ (3階)「翠雲の間」【京都市中京区河原町御池 TEL:075-211-5111】

■参加費 無料 ■定員 先着120名 ■主管 京都商工会議所 観光産業特別委員会

■申込 下記の申込書にご記入の上、FAXまたはメールから4月6日(水)までにお申込みください。

参加証は発行いたしませんので、当日直接会場へお越し下さい。

■担当 京都商工会議所産業振興部 商工振興担当(奥村・細川) ★HPからもお申込みいただけます。

TEL075-212-6442 FAX075-255-0428 E-mail:shinkou@kyo.or.jp

FAX: 075-255-0428 京都商工会議所 産業振興部 奥村宛

『京の朝ツーリズム・フォーラム』(4/11)参加申込

| | | | | | |
|--------|--|-----|-------|--------|---------|
| 会社・団体名 | | | | | 会員 / 一般 |
| 氏名 | | | 部署・役職 | | |
| | | | | | |
| TEL | | FAX | | E-mail | |

※記載頂いた個人情報は、本セミナーの実施運営のために利用するほか、主催者各種事業の情報提供に利用することがあります。

第7回 知恵ビジネスプランコンテスト 結果報告

■概要

知恵ビジネスの創出・育成を図るため、京都府内の中小企業を対象に、京都の特性または企業独自の強みを活かし、新たな知恵によって独自の技術や商品・サービス、あるいはビジネスモデルを開発し、“顧客創造”を実現するビジネスプランを公募。

■公募期間 平成27年9月29日～10月29日

■応募件数 69件

■審査

知恵の「巧み（独自性、優位性）」、知恵の「インパクト（社会性、顧客創造性）」、「実現性（プランの熟度、市場性、実行力）」の観点および本所の経営支援による事業の成長性を勘案し、書面審査、実地調査、面接審査を経て最終決定。

■認定 5プラン（認定プラン 累計41件）

■支援

認定したプランの実行・実現に向けて、本所経営支援員が、各種専門家等と連携しながら、経営戦略・マーケティング、資金調達、広報、マッチング等の支援活動を実施していきます。

■認定プラン（企業名50音順・敬称略）

1. 業務用冷凍寿司のエンジニアリング事業

（株）味京 代表取締役 奥村 和宜 <米飯用食品添加物の開発・製造・販売>

米飯の腐敗や硬化、風味低下などを抑制する米飯用改良剤を開発・製造・販売。炊飯加工業者などと取引するほか、しゃり玉やネタなど食材の質が解凍時に最も良くなるように開発した冷凍寿司を関連会社で販売している。冷凍寿司は、職人が不要で作り置き等ができることから飲食業界の関心は高いが、解凍時間の長さが課題であった。同プランでは、メーカーと共同開発した、解凍時間の短縮を図る専用解凍機器を用い、冷凍寿司の製造から販売までのシステムを飲食店や米飯加工業者等に提供し、飲食・加工業者の製造ロスや販売機会の損失などを解消する。



2. 伝統素材と一体化したアクリル板を使った什器・備品の製造販売

京都樹脂(株)代表取締役社長 末松 靖子 <樹脂・金属・木工加工製品、サイン表示物の製造施工・販売>

樹脂や鉄工、木工など様々な素材を活用し、百貨店や路面店の商業用ディスプレイ、什器等の製造・施工を手掛ける。工場と物流倉庫を持ち、デザインから施工まで一貫した対応ができるため、高品質・短納期・低コストで提供できる。プランでは、西陣織など京都の伝統素材をアクリル板に挟み込み、独自の合成樹脂加工の技術を活かして素材そのものの艶やかさを表現できる手法を開発。自由に成形加工ができるアクリル板の特性を活かし、インテリアや壁面装飾、照明器具や家具、ノベルティグッズなど、伝統素材の新しい可能性を探る。



3. ホーム管理サービス「住(ス)マイル」～笑顔で安心生活 快適な暮らしを～

(株)コスモメンテナンス 代表取締役社長 奥野 定 <総合ビルメンテナンス>

関西を中心に約3千棟の総合的なビル設備の管理を行う。従来のビル管理は、設備の保守点検や清掃などサービス毎の外注が一般的であったが、同社では知識・技術・資格を持つ人材を社内で育成することで、一人の社員が一回の訪問で複数の業務を低価格で行う“ワンストップ・ワンメン”を可能にした。プランではそのノウハウを活用し個人宅にも展開。家具の移動や清掃、安否確認など、暮らしのトラブルを定額料金で24時間サポートする。高齢者やその家族だけでなく、高齢者の入居率を高める賃貸運営会社などの不安も取り除く。



4. 観光客の安全と宿泊施設の安心を進化銀®でトータルサポート

高橋練染(株) 代表取締役 高橋 聖介 <染色整理加工・仕上げ、服地特殊加工ほか>

染色整理加工業のほか、京都の和柄をバッグやポーチ等に活かしたブランド「seisuke88」を展開。プランでは、本業の染色整理加工で培ってきた染料の調合ノウハウや生地加工技術をもとに、製薬会社と共同開発した高機能加工薬液「進化銀®」を宿泊施設等に販売する。抗菌・除菌・消臭など高い性能を持つ「進化銀®」は、塩素系やアルコール系のものを成分としないため、金属の腐食や塩素臭がなく、使用場所の制限が少ないのが特徴。液体スプレーや嘔吐物処理剤など、様々な宿泊シーンに合わせて次々と商品化するほか、介護施設や医療現場などにも活用を広げる。



5. 色の移り変わりを楽しめる草木染め製品の開発と新規顧客層の開拓

天然色工房 手染メ屋 代表 青木 正明 <「草木染め」手法だけによる染色工房>

「草木染め」の手法に特化した染色工房で、藍や紅花などの日本古来の天然素材を使って、自社ブランド「tezomeya」を展開、古くなった衣類を新しく染め直すサービスなどを行っている。今回のプランでは、ファッション市場において広がりを見せている「スローファッション志向」を背景に、堅牢度の高い化学染料ではなく、長年培った草木染めの技術と色変化に対する耐久度を高める技法を用いることで、色の移り変わりを楽しみ、消費者の“服を育てる”感覚を味わえるのも魅力のひとつとして提案している。



以上

京都・知恵ビジネス大交流会2016

◆第7回 知恵ビジネスプランコンテスト認定式・発表会◆

京都商工会議所では、京都で培われてきたさまざまな知恵や自社の強みを生かして、新たな顧客創造を図ろうとするビジネスを応援しています。京都ならではの知恵を持った事業者が一堂に会する大交流会で、貴社の「知恵の使いどころ」や「強み」について考えてみませんか。当日は、第7回知恵ビジネスプランコンテスト認定プランの表彰・プレゼンテーションも実施いたします。

| | | | |
|-----|--|----|-----------|
| 日時 | 平成28年3月7日(月)14:30~19:00 | 定員 | 300人(先着順) |
| 会場 | ホテルグランヴィア京都(3階)「源氏の間」 [京都市下京区烏丸通塩小路下がる] | | |
| 参加費 | 無料 ※但し、ビジネス交流懇親会は、参加費 3,000 円(当日、会場で拝受いたします) | | |
| 内容 | ①記念講演 「競争しない競争戦略」 | | |

講師：山田 英夫 氏 (早稲田大学ビジネススクール 教授)

〔講師プロフィール〕

1955年生まれ。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了後、三菱総合研究所入社。大企業のコンサルティングに従事。1989年早稲田大学に移籍。現在に至る。学術博士(早大)。専門は競争戦略、ビジネスモデル。アステラス製薬、NEC、ふくおかフィナンシャルグループの社外監査役を歴任。著書：『競争しない競争戦略』日本経済新聞出版社(2015)、『異業種に学ぶビジネスモデル』日経ビジネス人文庫(2014)、『逆転の競争戦略：第4版』生産性出版(2014)など多数。



②第7回 知恵ビジネスプランコンテスト認定式・発表会

③交流懇親会(17:30~) 有料(おひとり3,000円・当日拝受)

※認定プラン事業者をはじめ、京都で新しい試みに挑戦する事業者の情報交換会



共催 京都府・京都市 **後援** 近畿経済産業局・一般社団法人京都府中小企業診断協会・公益財団法人京都高度技術研究所・公益財団法人京都産業21・中小機構 近畿・京都産業育成コンソーシアム(予定)

申込締切 平成28年3月1日(火)※定員超過の場合のみご連絡します

申込方法 京都商工会議所のホームページからお申込みいただけます

お問い合わせ 京都商工会議所 中小企業経営支援センター
知恵産業推進室
TEL 075-212-6470/FAX 075-212-8871
bmpj@kyo.or.jp www.kyo.or.jp/kyoto/

同時開催 (11:00~18:00)

京都凱旋展 「京都展」

国内販路開拓事業「あたらしきもの京都」、
海外販路開拓事業「KYOTO CONNECTION/
KYOTO CONTEMPORARY」の参画事業者の
商品を展示します。

京都・知恵ビジネス大交流会 2016 申込用紙 (FAX:075-212-8871)

貴社名： _____ 事業内容： _____

TEL： _____ FAX： _____

Eメール： _____

| 御所属・御役職 | 御芳名 | 交流懇親会(いずれかに○) |
|---------|-----|---------------|
| | | 参加 不参加 |
| | | 参加 不参加 |

※ ご記載頂いた個人情報、本所事業の実施運営にのみ利用します。

あたらしきもの京都・Kyoto Connection・Kyoto Contemporary

「京都展」のご案内

オール京都で取り組んでいる国内販路開拓事業「あたらしきもの京都」並びに海外販路開拓事業「Kyoto Connection」・「Kyoto Contemporary」に参画した32社が、新たに商品開発を行い、「第81回東京インターナショナルギフトショー」、またフランス・パリの見本市「メゾン・エ・オブジェ 2016」及びアトリエ・ド・パリでの展示商談会等に出展する商品を一堂に集め、みなさまにご覧いただく京都凱旋展を開催します。各企業が取り組んできた成果をぜひともご覧ください！！



《あたらしきもの京都》18社

(株)井助商店／(株)弥栄／(株)宇野商店／(株)江村商店／加地金欄(株)京都樹脂(株)／(株)京都美京／(株)熊谷聡商店／(株)尚雅堂／(有)晋六(株)田中ケース／(株)土田人形／鳥居(株)／(株)丸進／(株)丸二宮崎木材工業(株)／(株)夢み屋／(株)和紙来歩

《Kyoto Connection》7社・1グループ

Kyoto Craft Session(加地金欄(株)・(有)昇苑くみひも)／(有)竹笹堂(株)丸二／(株)丸嘉／(有)横山竹材店／吉川染匠(株)／(株)和紙来歩渡文(株)

《Kyoto Contemporary》10社

(株)伊と幸／(株)Kyoto Natural Factory／(株)京都美京／弘誠堂(株)小堀／大東寝具工業(株)／(株)たち吉／西村友禅彫刻店丸和商業(株)／(株)夢み屋

【同時開催】

京都・知恵ビジネス大交流会2016 (14:30～19:00)

詳しくはこちら⇒ http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event_101642.html

■日時 平成28年3月7日(月)11:00～18:00

※入退場自由。開催時間中のご都合の良い時間にお越しください。

■場所 ホテルグランヴィア京都(3階 源氏の間)

(京都市下京区東塩小路町901 「京都駅」下車すぐ)

■入場 無料

※お申込みなしでもご入場いただけますが、できれば下記申込書またはウェブサイト(http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event_101834.html)より事前にお申込みください。

【お問合せ】 ファッション京都推進協議会 事務局 (京都商工会議所 産業振興部内)
TEL 075-212-6450 FAX 075-255-0428 E-mail: shinkou@kyo.or.jp (担当: 大竹・堀口)

《京都展(3/7)への来場を希望します》 E-mail: shinkou@kyo.or.jp FAX 075-255-0428

貴社名

お役職

貴名

住所(〒

-

)

電話

E-mail

※ご記入頂いた情報は本事業に関わるもののほか、主催者からの各種連絡・情報提供のためにのみ利用します。